

令和7年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
施設名	日向市市民活動支援センター 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム	指定管理者名	日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会
所管課	地域コミュニティ課	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

自己評価 (指定管理者が記載)	・利用者数が年々減少している要因として、登録団体の定例会等の開催回数の減少や、団体内の会員数の減少が考えられます。また、新規登録したが会員が集まらないとの理由で登録を解除した団体もありました。年間16回の自主開催講座についても、今年度は毎回、講座案内をタ刊に掲載し、若い人に知ってもらうために若い人向けの講座を企画し、「終活講座」も初めて開催しました。また、苦情・要望としては、パソコン利用者から、USBメモリ内のデータを印刷してほしいとの要望があり、事務局員のパソコンにUSBを挿すのはセキュリティ上できない旨を伝え、対応が悪いと言われたことがありました。 ・事務局員は、講座・研修（市・県開催）にシフトを調整し、参加しました。また、個人情報や文書等は鍵付きキャビネットに保管し、その他、ガイドラインに沿った業務を行っていました。 ・施設については、エントランス部分の照明器具は「製造終了」となっていたため、確保できた分だけ交換しました。協議会事務局としては、最後の年でもあったため、利用者（参加者）増を目指し、講座・講演会開催に係る新聞広告掲載の予算を計上し、実施してきましたが、結果として、参加者増にはつながりませんでした。
--------------------	--

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
① 利用状況・サービス向上	施設（サービス）の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	B	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	B	B	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	B	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	B	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	B	B	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができているか。	B	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員を訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地

	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成・受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
	②の総括		B	B	
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。（利用料金、委託料等の実績）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	指定管理料の精算（返還）	基本協定・年度協定に基づき、精算（返還）の要否を確認し、必要時は返還額算定・期限内返還・証憑整理まで適切に行われているか。	B	B	事業報告書、修繕実績書
	③の総括		B	B	
総合評価		①、②、③の総括による総合評価	B	B	

※総合評価の理由	協定書及び仕様書、並びに関係法令を遵守した管理運営に努めた結果、全体として良好な状態であることが認められました。加えて、毎年、登録団体の増加や施設利用者の増加に向けて様々な取組を実施するとともに、利用者の視点に立った運用の見直しを重ねてきたことが確認できます。 さらに、講座・交流機会の企画及び情報発信の強化などにより、利用者数の増加や稼働率向上に向けた集客努力を行いました。結果としては利用者数等の増加に十分に結び付けられませんでした。
※特記事項（成果・課題等）	指定管理者として、施設の管理運営を計画どおり遂行し、大きな事故やトラブル等もなく、指定期間の満了まで誠実に事業に取り組みました。 これまでの運営で得た知見は引き継がれており、今後の施設の安定した管理運営の一助となっています。

※総合評価の理由及び特記事項（成果・課題等）は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	A（優良）＝協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた B（良好）＝協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた C（課題含）＝協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった D（要改善）＝協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった
	総括	A（優良）＝評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である B（良好）＝評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である C（課題含）＝評価基準が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている
	総合評価	A（優良）＝総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある B（良好）＝総括が全てB以上である C（課題含）＝総括が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている